

**2016年度 摂南大学研究助成「Smart and Human 研究助成金」
自己点検・評価スケジュールおよび評価総評**

.....

<自己点検・評価スケジュール>

2016年

12月 6日（火） 研究代表者に成果報告書および自己点検・評価書の提出を依頼

2017年

- 2月 27日（月） 学内審査委員会に成果報告書および自己点検・評価書に基づく評価を依頼
 - 3月 8日（水） 研究成果発表会の開催
 - 3月 10日（金） 学内審査委員会委員による評価を回収
 - 3月 18日（土） 学内審査委員会を開催し、評価を確定
 - 3月 24日（金） 外部評価員に審査委員会による評価結果を報告し、評価を依頼
 - 4月 7日（金） 外部評価員の評価を回収
-

<評価総評>

「**地域総合研究**」では、対象とする地域は異なるが、いずれもその地域で暮らす人々や企業に寄り添い、地域にとって最も関心の深い課題を見出して明確化し、住民や企業と緊密な連携を図りながら丁寧に進められていた。特に以下の三点が高く評価される。

- ① 総合大学という利点を活かしながら多様な視点から課題へのアプローチがなされたこと。
- ② 大学が地域の魅力を引き出す支援を行うだけでなく、大学を地域連携の拠点とする試みにチャレンジするなど、摂南大学の存在意義を地域に認識してもらう取り組みが行われたこと。
- ③ 当該研究を行った地域に関する成果の応用範囲は広く、地域社会の活性化「地方創生」の一助となったこと。

「**一般研究**」では、Smart and Human の精神に基づき、少子高齢化や医療の問題、国際化に関する問題など社会的意義が高く、難しいテーマにチャレンジしている研究が多かった。いずれも社会にとって重要なテーマであり、地道な調査・研究に基づき着実に成果を上げている。

今後、「Smart and Human 研究助成金」助成による研究成果が、具体的な提言に結び付き、それぞれの分野において地域・社会に還元されることを期待する。